

RS
C O O L

外壁の遮熱性能に最もこだわった
夏の暑さ対策。

RS

クール水性Si

水性反応硬化形高耐候性アクリルシリコン樹脂塗料

リフォーム
サミット店
Supported by KANSAI PAINT

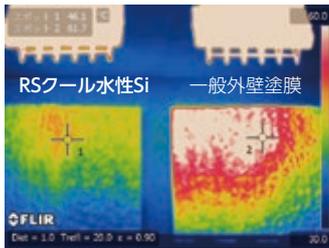
RSクール水性Si



1 赤外線を効率よく反射させる

遮熱効果とは、太陽光線(赤外線)を効率よく反射し、外壁の塗膜表面温度上昇を抑制することです。それにより素材の蓄熱を抑え、熱による素材の劣化を防ぎます。

ハロゲンランプ照射実験例(サーモグラフィ画像)

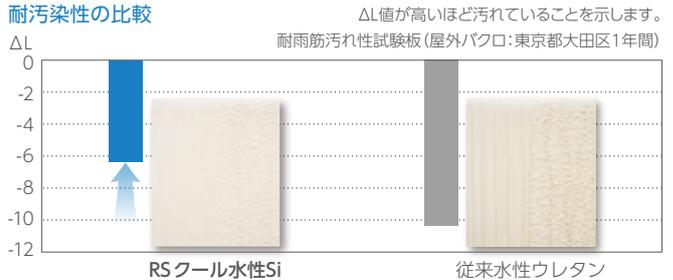


一般壁用塗料と「RSクール水性Si」の塗板にハロゲンランプを照射して表面温度を確認しました。この実験では、表面温度で約15.6℃の温度低減効果が確認できました。(塗色:AW-016)

2 低汚染で汚れにくい

緻密かつ強靱な塗膜形成技術で開発された防汚性能が建物の美観を維持します。また、汚れによる遮熱効果の低下を抑制し、性能の長期維持を図ります。グラフでは雨筋が発生していないことと色味の変化が少ないことがわかります。

耐汚染性の比較



塗料性状

荷姿	15kg, 4kg	加熱残分	55%(白)
混合比	—	劇物表示(品名・含有量)	—
色	白および各色	労安法上の表示有害物	—
艶	艶あり	有機則/特化則	—
仕上り感	平滑	消防法による危険物区分	非危険物
塗料比重	1.24(白)	硬化剤の成分による区分	—
溶剤比重	1.00(上水)		

※上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

塗装条件

塗装方法	ハケ	ローラー	エアレススプレー
希釈率	5~10%	5~10%	5~10%
標準所要量(kg/m ² /回)	0.13	0.13	0.16
希釈剤	上水	上水	上水

※標準所要量は、個々の条件によって異なります。 ※標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

塗装間隔

項目	温度		23℃
	最短	最長	
標準塗装間隔	2時間	7日	
使用時限	—		

施工上の注意事項

- ①素地のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製CH-2)、または5%以下(ケツ科学社製HI-500シリーズ:コンクリートレンジ)の条件で塗装してください。
- ②塗替えの場合、旧塗膜の劣化が著しいときは、サンダー・ワイヤーブラシなどで脆弱な塗膜を除去し、高圧水洗を行い1日乾燥後、塗装をしてください。
- ③気温5℃以下、湿度80%以上、また、降雨、降雪、強風が予想される場合は、塗装を中止してください。
- ④気温0℃以下、40℃以上での塗料の保管は避けてください。
- ⑤本品は屋根への適用はできません。
- ⑥5工程仕様の場合、金属サイディング面及び弾性スタッコ面の塗替えには使用できません。
- ⑦旧塗膜がスタッコのような場合は、各工程の塗料を十分に塗り込んでください。
- ⑧下地補修部へ対しては、必ずシーラー塗装を行ってください。
- ⑨脆弱な下地などには「浸透形シーラー」を使用してください。
- ⑩シーラーの取込みが著しい場合には、再度シーラーを増し塗りしてください。
- ⑪軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型業用サイディングおよび発泡ウレタンなどを使用した断熱工法などの「高断熱型外壁」を塗り替える際、旧塗膜が溶剤系アクリルトップである場合は蓄熱や水の影響、塗装後の環境などいくつかの条件が重なることで、塗膜のふくれが生じることがあります。旧塗膜をラッカーシンナー拭きして簡単に塗膜が再溶解する場合は、下塗に「マルチタイルコンクリートプライマーEPO」を塗装してください。
- ⑫開缶後、放置する場合には皮が張らないようポリエチレンシートなどを用いて、密閉してください。

- ⑬乾燥すると養生テープを剥がしにくくなりますので、塗膜が乾燥する前に養生テープを剥がしてください。乾燥後に養生テープを剥がす場合にはカッターなどでカットした後、テープを取り外してください。
- ⑭汚れ、傷などにより補修塗料が必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとっておき、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- ⑮ハケ塗りで補修塗りを行う際、ローラー塗りとの仕上り肌や希釈率の違いによる色相差が生じることがありますのでご注意ください。
- ⑯「RSプライマー」、「マルチタイルコンクリートプライマーEPO」はベースと硬化剤がセットになっている2液形塗料です。ベース、硬化剤は正確に計量し、電動攪拌機を用いて、よくかき混ぜてから使用してください。また、ベース/硬化剤を混合後4時間以内で使用してください。夏場の場合は2時間程度で使用できなくなります。
- ⑰サイディングボードに既に反り、欠落、変形が発生している場合には、サイディングボードを取り替える必要があります。
- ⑱シーリング材とサイディングボードとの接合面に、剥がれ、ウキが認められる場合には、シーリング材を打ち直してください。
- ⑲シーリング材の上はフシや汚れが生じることがありますので、塗装は避けてください。やむを得ず塗装される場合、下塗の前に「シーラ」または「マルチタイルコンクリートプライマーEPO」をご使用ください。
- ⑳コンクリート、モルタル系素地には「エポMシーラー」も使用できます。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。

吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。

皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・スリッパ・長袖の作業着・前掛けを着用すること。

本来の目的以外に使用しないこと。

指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。

缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。

取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。

使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。

本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

目に入った場合: 直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合: 直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷がある場合は、医師の診察を受けること。

吸入した場合: 空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。

火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

保管: 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

廃棄: 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

施工時: 本品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施工主に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。

安全表示: 不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。